

磯子区洪水ハザードマップ

洪水浸水想定区域(想定最大規模※)

大岡川水系河川：大岡川、堀割川

この洪水ハザードマップは、大岡川水系等の河川の氾濫が予想される場合や実際に氾濫した場合に、浸水が想定される区域の皆さんに速やかに避難していただくために作成したものです。

※想定最大規模とは「想定し得る最大規模の降雨」による氾濫を前提として予測したものです。



出典データ	
背景図	横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第 9024 号 横浜市建築局都市計画基本図データ(地図レベル2500)により作成
河川	横浜市道路局 河川図
浸水想定区域	大岡川水系洪水浸水想定区域図(令和4年2月現在)
土砂災害警戒区域	横浜市建築局 土砂災害警戒区域(令和4年2月現在)
土砂災害特別警戒区域	横浜市建築局 土砂災害特別警戒区域(令和4年2月現在)

洪水浸水想定区域(想定最大規模)はどうやって決めたの?

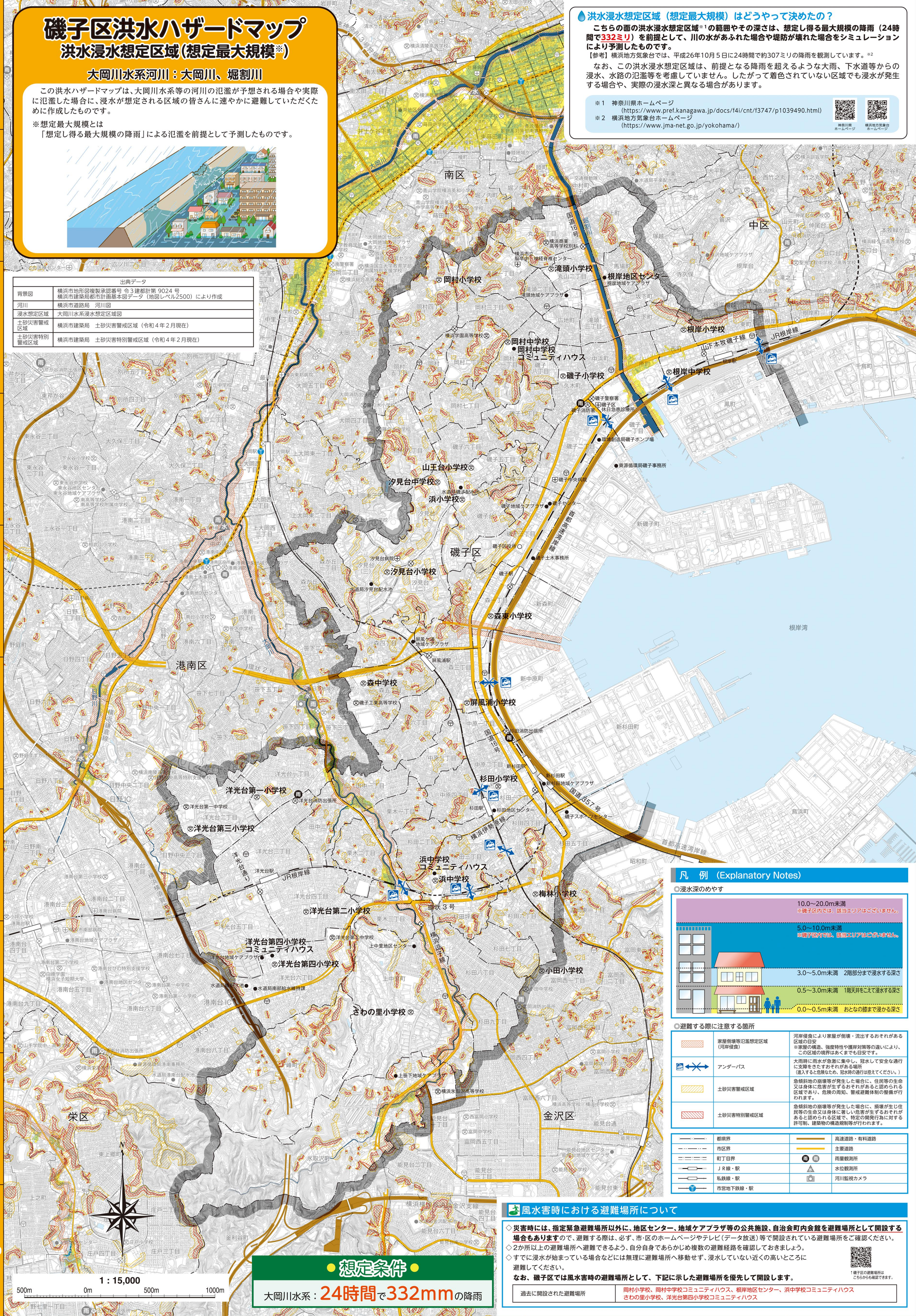
こちらの面の洪水浸水想定区域^{※1}の範囲やその深さは、想定し得る最大規模の降雨(24時間で**332ミリ**)を前提として、川の水があふれた場合や堤防が壊れた場合をシミュレーションにより予測したものです。

【参考】横浜地方気象台では、平成26年10月5日に24時間で約307ミリの降雨を観測しています。^{※2}

なお、この洪水浸水想定区域は、前提となる降雨を超えるような大雨、下水道等からの浸水、水路の氾濫等を考慮していません。したがって着色されていない区域でも浸水が発生する場合や、実際の浸水深と異なる場合があります。

※1 神奈川県ホームページ
(<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/14i/cnt/f3747/p1039490.html>)

※2 横浜地方気象台ホームページ
(<https://www.jma-net.go.jp/yokohama/>)



凡例 (Explanatory Notes)

◎浸水深のめやす

10.0~20.0m未満	※磯子区内では、該当エリアはございません。
5.0~10.0m未満	※磯子区内では、該当エリアはございません。
3.0~5.0m未満	2階部分まで浸水する深さ
0.5~3.0m未満	1階天井をこえて浸水する深さ
0.0~0.5m未満	おとなの膝まで浸かる深さ

◎避難する際に注意する箇所

河川浸水想定区域(河川浸水)	河川浸水により家屋が倒壊・流出するおそれがある区域の目安 ※家屋の構造、強度特性や沿岸対策等の違いにより、この区域の境界はあくまでも目安です。
アンダーパス	大雨時に雨水が急激に集中し、冠水して安全な通行に支障をきたすおそれがある場所(進入すると危険なため、冠水の進行は控えください。)
土砂災害警戒区域	急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。
土砂災害特別警戒区域	急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。

風水害時における避難場所について

◇災害時には、指定緊急避難場所以外に、**地区センター、地域ケアプラザ等の公共施設、自治会町内会館を避難場所として開設する場合があります**ので、避難の際は、必ず、市・区のホームページやテレビ(データ放送)等で開設されている避難場所をご確認ください。

◇2か所以上の避難場所へ避難できるよう、自分自身であらかじめ複数の避難経路を確認しておきましょう。

◇すでに浸水が始まっている場合などは無理に避難場所へ移動せず、浸水していない近くの高いところに避難してください。

なお、磯子区では風水害時の避難場所として、下記に示した避難場所を優先して開設します。

過去に開設された避難場所	岡村小学校、岡村中学校コミュニティハウス、根岸地区センター、浜中学校コミュニティハウス、さわの里小学校、洋光台第四小学校コミュニティハウス
--------------	---

1 : 15,000

500m 0m 500m 1000m

●想定条件●

大岡川水系：24時間で**332mm**の降雨